

スイカを作ろう！

スイカには、疲労回復に効果があるので夏バテで食欲がない時のおやつ代わりに持ってこいです。冷たく冷やして甘いスイカを食べてみませんか。

特 徴

- 暑さに強い ★★★★★
- 作りやすさ ★★★★★
- 一株で大玉 (2 ~ 3 玉)
小玉 (5 ~ 6 玉)
- カロテンを多く含む

栽培するための条件

【日照】	日なた
【必要スペース】	株間2.5m 以上
【連作障害】	有(2~3年)
【コンテナ栽培】	不可

●育て方のポイント

- 野菜の中ではもっとも強光を好み、生育適温も高いので（夜温 15℃以上）日当たりの良い場所で、十分暖かくなってから栽培に取り掛かります。
- 早い時期には訪花昆虫が少ないので、人工授粉して着果を促します。
- 2～3年はウリ科の野菜（きゅうり、かぼちゃ、ゴーヤなど）との連作は避けましょう。但し接木苗の場合は連作が可能です。

●栽培カレンダー

作業	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
植え付け				■								
ほかほかキャップ被覆				■								
収穫							■					

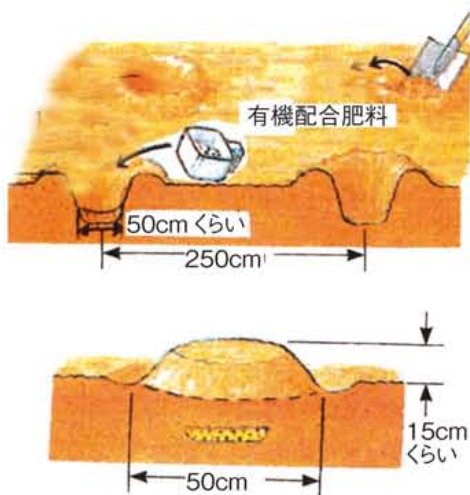
スイカの作り方

畑で作る場合

準備するもの

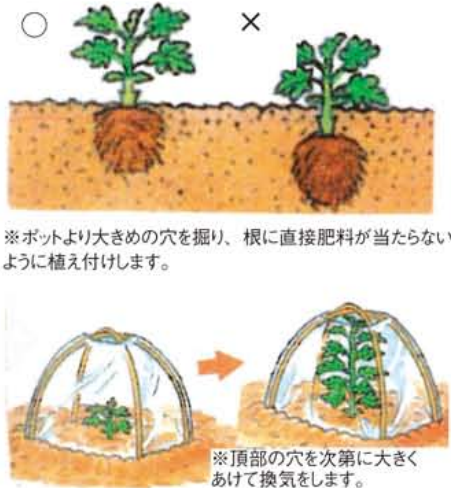
スイカの苗・苦土石灰・牛ふん堆肥・化成配合肥料・有機配合肥料・ぼかぼかキャップ・敷きわら・鍬・ショベル

1 畑の準備



苗を植える2週間前に1㎡あたり3kg程度の牛ふん堆肥を入れて、できるだけ深く耕し、直径50cm、高さ15cm程度で土を盛り上げます。真ん中に深さ20cmの穴を掘り、有機配合肥料を軽く1握り入れ、埋め戻します。

2 植え付け

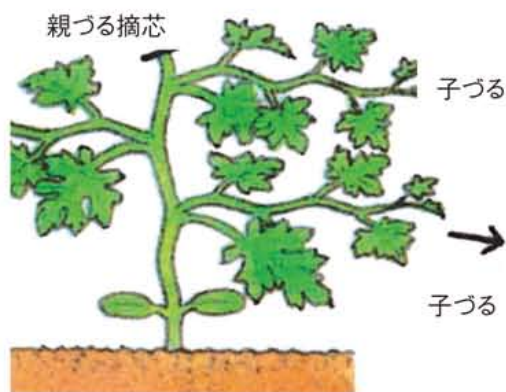


※ポットより大きめの穴を掘り、根に直接肥料が当たらないように植え付けします。

※頂部の穴を次第に大きくあけて換気をします。

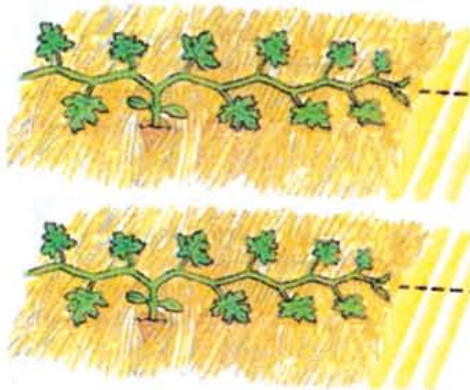
苗はぼかぼかキャップの高さに伸びるまでは被覆しておき、土が乾いてきたら上に穴を少し開け、時々水やりをします。

3 整枝



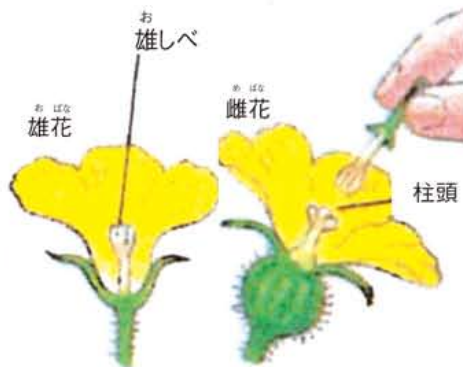
葉が5～6枚になったら親づるを摘芯し、子づるが40～50cmになる頃、3本を残して他の子づるを取り除きます。

4 追肥と敷きわら



1回目の追肥はつるの長さが50～60cmの時、敷きわらをし、盛り土のまわりに化成配合肥料を1株あたり大さじ2杯施します。
2回目の追肥は、果実が湯呑茶碗程度の大きさになった頃、株と株の間に化成配合肥料をばら撒きます。

5 人工授粉



開花した日の朝、8～9時ごろまでに雄花の花弁を取り除き、雄しべをむき出しにして、雌花の柱頭に軽くこすりつけます。
交配日をラベルに記しておきます。

6 収穫



開花後40～50日程度で収穫できます。熟し具合をみるために、1個を試しどりして調べると確実です。

●育てるために必要なものはグッディで揃います！



牛ふん堆肥
ネオノビール
40g



有機配合肥料
5kg
油粕・骨粉・米糠・魚粉



化成配合肥料
5kg



遅霜の予防や、
生育の促進に
効果を発揮
ぼかぼか
キャップセット
5組入
支柱幅 2.2mm x
110cm



敷きわら
24g